

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			・時間帯によっては、利用者の見守りができる職員が足りなくなることがある。 →特に子どものケガなどの可能性がある場合に、あらかじめフィードバックの方法を変えるなど工夫を行っていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・階段に手すりがついている。 ・パーティションで区切り、支援スペースであることを視覚的に分かりやすくしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・活動スペースをパーティションやテープなどで可視化し、わかりやすくしている。 ・毎朝、事業所内の清掃を行っている。 ・室内で運動を行う際は、支援スペースを広めに確保している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・会社全体で取り組んでいる。	・目標設定は行っているが、振り返りまではあまりできていない。 →業績評価シートの活用を行う。

適切な支援の提供	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・評価をもとに改善策を職員間で話し合っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・毎年、社内で内部監査を行い、業務改善につなげている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・毎月、会社全体で研修に参加している。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・利用開始時と年度始めに、全利用者を対象にアセスメントを行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・NC プログラムや遠城寺式発達検査を使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画を見て、プログラムの作成、支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・職員間でプログラム内容の共有を行っている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・毎回同じ内容にならないように、各自意識できている。 ・同じ内容の課題でも、毎回提示の仕方を変えて、新鮮な気持ちで取り		

				組んでもらえるようにしている。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・原則は個別支援だが、不定期的に小集団支援も取り入れている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝、朝礼時に実施している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎朝、朝礼時に情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・各自で意識できている。 ・後で誰が見ても分かるように、具体的に詳しく記録に残すようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・最低6か月に1回、必ず行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管や担当指導員が中心となって参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・相談支援事業所や訪問看護事業所などと連携する機会がある。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて園に訪問し、情報共有を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて小学校へ訪問し、情	

				報共有を行っている。	
	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・園の見学を行い、その中で情報共有を行うようにしている。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・積極的に参加するようにしている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・支援後のフィードバックにて、その日の利用者の様子をお伝えしている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・岡山市内5校舎が合同で、保護者に向けたイベントを行っており、その中で保護者への支援を行うようにしている。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に管理者が説明を行っている。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・契約時と個別支援計画更新時に、必ず説明している。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・支援後のフィードバック時や事業所内相談にて行っている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・年に数回、父母の会を設け、保護者同士をつなぐきっかけづくりを行った。 ・岡山市内5校舎が合同で、保護者に向けたイベント
					・今後は自校舎単体でも保護者会が開催できるようにしていく。

				を行っており、その中で保護者への支援を行うようにしている。	
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・相談を受けても、知識が足りず、そのまま返事ができていないことがある。 →職員全体での情報共有を強化していく。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・LINE やブログ、Instagramなどで情報の発信を行っている。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・必ず鍵付きのロッカーで保管し、外部へ持ち出さないようにしている。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・今年度から、岡山市内5校舎合同で実施している。	・自校舎と地域との関わりは薄い。 →自校舎での保護者相談会の企画、公民館などの施設との関わり強化などを行っている。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・毎月、違うテーマで防災訓練を行っている。	・保護者への周知はあまりできていないように思う。 →ブログやSNSでの発信の強化、室内外の掲示の明確化を行っている。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月、違うテーマで防災訓練を行っている。	・子どもがいる状況での訓練をもっと行っていきたい。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメントやフィードバックの時に確認を行っている。	・それぞれの職員が担当する子どもは把握できているが、担当以外の子どもについては把握しきれていない。

					→服薬や既往歴などに関する一覧表を作成し、職員間で共有する。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・支援時に食事の提供は行っていない。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット発生の際は、報告書を作成し、全体で共有している。	・まだヒヤリハット事例の数が少ない。 →もっと細かく把握できる目や意識と余裕が必要。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

保護者等数（児童数）：15 回収数：9 割合：60%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0	0	・もう少し個別空間がしっかり分かれている方がよい。	・パーティションやカラーテープなどを活用し、より分かりやすくしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	0	・清潔に掃除されている。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0	・定期的に支援計画書を作っている。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0	・都度、悩みに合わせた支援内容を行ってくださる。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	2	2		
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基	9	0	0	0		

説明等		づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか						
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	1	2	・定期的に、子どもの様子を見学したいです。	・状況に応じて、各職員から見学のご提案を行っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	・毎回、活動後に、お話を取る時間を取って下さっている。 ・最近の様子や困りごとを気にかけてくださっている。 ・毎回のフィードバックが丁寧でわかりやすいです。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	1	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	1	3	・定期的にイベントを開いて下さっており、希望者は参加できる。 ・円山校のイベントは、またいつか参加したいです。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	0	・幼稚園見学をしていただき詳しく報告してくださった。すぐ対応していただいた。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	0	2	・インスタグラムで、活動報告（イベントの様子など	

							）を発信されている。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	0	0	0		
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	1		
	⑺	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	0	3		
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、とても楽しみにしています。 ・順番に出てくる課題が子供に合わせて楽しんでいる。 ・いつもとても楽しみにしています。 	
	㉑	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通所を楽しんでいて、困りごとの相談が出来、通って良かったです。 ・家庭で教え方に困ることなど取り入れていただき助かっている。 ・追加利用と長期休み、祝日の時間変更ができて満足しています。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。